

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）活用事業について

no	事業名	R4事業費等 単位：円	評価指標及び実績値				事業内容	
			指標	年度	KPI	実績値		単位
1	<p>■北海道十勝地域×東京台東・墨田区連携事業 ～大地のタカラ×江戸のチカラ 関係人口創出プロジェクト～</p> <p>本事業は、平成26年に東京特別区長会が「特別区全国連携プロジェクト」の取り組みを開始したことを契機に、平成29年度より十勝地域と台東区・墨田区との連携事業について検討を開始したもので、北海道十勝地域及び東京都台東区・墨田区の「人」や「企業等」が、一過性ではない「深い交流」を持続的に展開する環境を創り出すことにより、両地域の「関係人口」の創出・拡大を目指すもの。</p> <p>※地方創生交付金の利用状況 【推進交付金】（R2～R4） ※十勝全域と東京都台東区・墨田区の広域連携事業</p>	全体事業費 22,344,000	①観光消費額（十勝地域の額、台東区と墨田区の合計額を設定）	事業開始前	3,508	—	億円	<p>【令和4年度実施事業】</p> <p>1. 江戸の伝統を生かした十勝産品による新しい食文化の創出事業 (1)たいとう・すみだ・十勝ウィーク ①十勝食材フェア（R4.11.18～12.6） ②クッキング交流会 台東区会場（R4.11.26） 墨田区会場（R4.11.27） ③ふるさと交流ショップ台東・すみずみにおける十勝産品の販売 台東区会場（R4.11.24～12.6） 墨田区会場（R4.12.3～12.4） ④各種メディアを活用したPR（R4.11.4）</p> <p>(2)たいとう・すみだ特産品づくり ①エソ鹿肉を活かした特産品づくり（3メニュー） 十勝地域試食会（R4.10.4） 台東区・墨田区試食会（R4.11.30） ②エソ鹿の革を用いた特産品づくり（4事業者） 参加事業者の試作製作（R4.12月末） 特産品お披露目会R5.2.24）</p> <p>2. 十勝・東京スポーツ・アウトドア交流拡大事業 (1)交流プログラム（モニタリングツアー）（R4.9.17～19、9.23～25）</p> <p>3. 北海道十勝地域と東京たいとう・すみだ戦略的交流事業 (1)交流戦略委員会の開催（計3回） (2)交流戦略策定 (3)情報発信（ホームページ更新、冊子の作成）</p>
				R2	268	-1,801		
				R3	143	-392		
				R4	148	2,033		
				増加分累計	559	-160		
		うち 鹿追町分 事業費 688,000	②両地域において企業が連携して開発した健康増進や滞在型のプログラム、商品の件数	事業開始前	0	—	件	
				R2	1	0		
				R3	1	0		
				R4	1	7		
				増加分累計	3	7		
		交付金 344,000	③両地域の連携事業へ参画した個人のうち継続して参画意欲がある人数	事業開始前	0	—	人	
				R2	50	2		
				R3	50	131		
				R4	50	54		
				増加分累計	150	187		
			④イベント参加者へのアンケートにより十勝地域と台東区・墨田区の連携が大切とする住民の割合	事業開始前	47	—	%	
R2	2			28.3				
R3	2			18.9				
R4	2			5.6				
増加分累計	6			52.8				
2	<p>■交通モードの利活用により十勝地域の内外をつなぐ 交流人口拡大推進事業</p> <p>本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ十勝地域内の外出機会や観光客数の早期回復に向け、また、とち帯広空港の民営化が始まり道内他空港とのネットワークの強化を見据え、地域住民に必要な交通サービスの改善や、旅行者動態を踏まえた移動利便性を高めることで、持続可能な地域交通を目指し、関係・交流人口の創出・拡大による交流の活性化やまちへの定着を目指すもの。</p> <p>※地方創生交付金の利用状況 【推進交付金】（R3～R5） ※十勝全域の広域連携事業</p>	全体事業費 19,949,951	①十勝管内の乗り合いバス・タクシーの人口千人当たりの年間利用者数	事業開始前	22,067	—	人	<p>【令和4年度実施事業】</p> <p>1. 地域住民向けのワークショップの実施</p> <p>2. 相互情報共有SNSサイトの作成と運営</p> <p>3. 衛生環境を維持確保する仕組みの検討</p> <p>4. 観光・移住のコンテンツデータを活用したプロモーションの実施</p> <p>5. 観光客や移住希望者の誘導に向けた交通旅行商品の実証事業</p>
				R3	51	集計中		
				R4	52	集計中		
				R5	102			
				増加分累計	205	0		
		うち 鹿追町分 事業費 499,886	②十勝管内の観光入込客数	事業開始前	10,264.5	—	千人	
				R3	50	-3,153.5		
				R4	65	集計中		
				R5	80.5			
				増加分累計	195.5	-3,154		
		交付金 249,943	③十勝管内へのちょっと暮らし滞在数	事業開始前	13,005	—	日	
				R3	200	152		
				R4	300	集計中		
				R5	586			
				増加分累計	1,086	152		

〈R4実績〉 第2期 総合戦略KPIについて

1年目 2年目 3年目 4年目

戦略番号	項目	指標	年度	現状値	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	目標年度	目標値	目標に対する実績率	総合戦略該当ページ
------	----	----	----	-----	--------	--------	--------	--------	------	-----	-----------	-----------

【基本目標（1）地域における安定した雇用を創出し、これを支える人材を育て活かす】

戦略1	学校教育	鹿追高校での英検2級取得者数	2018 (H30)	5	5	7	5		2023 (R5)	10	50%	10
戦略2	農業（経営・基盤整備）	国営・道営農業基盤整備事業の実施地区数	2018 (H30)	5	5	4	4		2023 (R5)	4	100%	12
		多面的機能支払事業実施事業費（千円）	2018 (H30)	101,430	101,369	101,342	101,323		2023 (R5)	101,000	100%	12
戦略3	農業（安心・安全な農業）	環境保全型農業直接支払交付金事業取組者数	2018 (H30)	34	22	24	23		2023 (R5)	35	66%	14
		加工品開発製造支援件数	2018 (H30)	63	85	49	52		2023 (R5)	70	74%	14
		GAP取組者数	2018 (H30)	105	115	114	114		2023 (R5)	110	104%	14
戦略4	農業（持続可能な農業）	バイオガスプラントによるバイオマス資源活用量（t）	2018 (H30)	152,500	161,534	161,652	176,398		2023 (R5)	181,000	97%	16
		バイオマス事業における雇用数	2018 (H30)	19	23	21	22		2023 (R5)	27	81%	16
		水素エネルギーの利活用による水素製造量（m ³ ）	2018 (H30)	25,208	18,461	26,484	54,214		2023 (R5)	50,000	108%	16
戦略5	商工業	商工会会員数	2018 (H30)	169	164	162	158		2023 (R5)	165	96%	18
		道の駅連携イベント実施数	2018 (H30)	2	0	0	0		2023 (R5)	10	0%	18
戦略6	エネルギー	自営線ネットワーク事業にかかわる雇用人数	2018 (H30)	0	1	1	1		2023 (R5)	1	100%	20

1年目 2年目 3年目 4年目

戦略番号	項目	指標	年度	現状値	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	目標年度	目標値	目標に対する実績率	総合戦略 該当ページ
------	----	----	----	-----	--------	--------	--------	--------	------	-----	-----------	---------------

【基本目標（2）地域への新しいひとの流れをつくる】

戦略7	学校教育	親子留学者数	2018 (H30)	5	8	13	11		2023 (R5)	10	110%	22
戦略8	観光	観光客数	2018 (H30)	742,000	598,700	590,200	658,500		2023 (R5)	872,000	76%	24
戦略9	ジオパーク	とがち鹿追ジオパーク ビジターセンター来館者数	2018 (H30)	3,000	1,933	2,197	3,139		2023 (R5)	3,300	95%	26
		とがち鹿追ジオパーク 講座・ツアーなどの受講者数	2018 (H30)	400	257	642	728		2023 (R5)	600	121%	26
戦略10	花、公園	花によるまちのきれいさ (%)	2018 (H30)	97	85	81	91		2023 (R5)	110	83%	28
		フラワーマスター人数	2018 (H30)	67	60	60	57		2023 (R5)	78	73%	28
戦略11	交流	受入れホスト家庭数	2018 (H30)	308	318	318	318		2023 (R5)	358	89%	30
		国内姉妹提携都市数	2018 (H30)	0	0	0	0		2023 (R5)	1	0%	30
戦略12	行政運営	十勝管内の観光入込み客数 (延べ人数) (万人)	2018 (H30)	1,033	1,026	707	711		2023 (R5)	1,046	68%	32
		十勝管内バス乗客数 (万人)	2018 (H30)	459	451	326	328		2023 (R5)	464	71%	32

戦略番号	項目	指標	年度	現状値	1年目				2年目				3年目				4年目				目標年度	目標値	目標に対する実績率	総合戦略 該当ページ
					R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績																

【基本目標（3）若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる】

戦略13	子育て支援	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合（％）	2018（H30）	97.7	94	90	96		2023（R5）	100	96%	34
		子育て世代包括支援センターを知っている妊婦の割合（％）	2018（H30）	0	-	42.3	43		2023（R5）	50	86%	34

【基本目標（4）時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】

戦略14	高齢者福祉	高齢者福祉総合相談者数	2018（H30）	357	133	203	419		2023（R5）	400	105%	37
		ボランティア会員数	2018（H30）	160	143	160	148		2023（R5）	200	74%	37
戦略15	防災	市街地区行政区の防災訓練（行政区）	2018（H30）	0	0	0	0		2023（R5）	10	0%	40
戦略16	情報通信	農村地区の情報通信高度化事業（事業者前を0・着手（将来目標）を1）	2018（H30）	0	1	1	1		2023（R5）	1	100%	42
戦略17	コミュニティ	無作為抽出による会議などへの参加件数	2018（H30）	0	0	1	0		2023（R5）	5	0%	44
		ふれあいトークへの参加人数	2018（H30）	0	63	20	56		2023（R5）	300	19%	44
		行政区支援事業への参加数（行政区）	2018（H30）	24	8	8	8		2023（R5）	35	23%	44
戦略18	財政運営	行財政改革による経常的経費の削減効果（年間）（千円）	2018（H30）	0	91,499	80,614	150,754		2023（R5）	100,000	151%	46

令和5年度 鹿追町まち・ひと・しごと創生推進会議 意見・回答一覧

項目	意見内容	回答
KPIに関する意見	<p>戦略1：学校教育 鹿追高校での英検2級取得者数が減少していることが残念です。文部科学省の一貫教育指定があった時には指導者も充実しており、小学校からの英語教育は効果的でした。今後もカナダとの交流の継続、カナダからの受け入れ等、英語を話せる子供たちが1人でも多く育てることが将来の活躍の場にも繋がります。今後の目標が必要です。</p>	<p>ご意見の通りです。今回の目標設定は、これまでの鹿追町の取り組みの中から難易度の高い目標を設定しました。対策として、オンライン公設塾の入塾者に対し受験費用の助成を開始して受験機会の確保を図っているところであります。今後も目標達成のため、引き続き英検受験意欲の向上に取り組んで参ります。</p>
	<p>戦略2：農業（経営・基盤整備） 多面的機能支払事業に関して、農家戸数減少と一戸当たりの経営規模拡大が進む中、農村の景観維持・農地保全管理に向けた地域活動の負担は増加しており、当該事業による支援は本町農業の安定的発展に向け重要な支援策となっていることから、今後もさらなる事業の充実と拡大を期待します。</p>	<p>多面的機能支払事業は、2014（平成26）年度に法制化されたことにより恒久的な事業となりました。地域共同で行う多面的機能を支える活動や、地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図るため、今後も継続的に取り組んで参ります。</p>
	<p>戦略4：農業（持続可能な農業） バイオガスプラントに関し、本町に有する耕作地を最大限有効活用し食料生産基地として今後も発展する為には、バイオガスプラントを始めとするアウトソーシングの充実が必須であり、バイオ液肥散布に伴う肥料コスト低減・臭気対策と同時に循環型農業の推進に向けても更なる施設の拡充を期待します。</p>	<p>3基目のバイオガス施設に関しましては、2020（令和2）年度にマスタープランの策定を終えたところでありますが、国際情勢の変化による建設費の高騰や、製造されるバイオ液肥に対して利用が少ないという問題もあり、建設することが厳しい状況です。 今後ひとつひとつの課題を精査し、慎重に検討を重ねる必要があると考えます。</p>
	<p>戦略2・3・4：農業 目標数値に達しているものもあり、今後も積極的に国の事業等を活用し、一次産業の発展の基盤整備は重要です。 ただし、今後の鹿追町の農業情勢もこれまで以上に変化していきます。農家戸数の減少・農地の移動が進むことによる農地条件の格差・離農農家の活用等、検討が必要ではないでしょうか。</p>	<p>今後ますます離農が進み、耕作放棄地が出るようになることを想定し、対策案を考えていく必要があります。また、農家戸数の減少の対策として、離農農家の畑や施設を活用して経営を引き継ぐことができる新たな働き手のための支援を整備していくことが必要ですので、今後検討して参ります。</p>
	<p>戦略8：観光 観光については、観光客の入込数は減少傾向にあるのが現状で、鹿追町の観光地がどこなのか知らない人が多いです。現状では、観光協会、観光協会事務局がそれぞれPRし呼び込みできているものの、それ以上の効果は見だせていません。 観光客入込客数とは、準観光（外からくる観光客）と産業観光（視察等、鹿追町に仕事で来ている人）と地元観光（町内の人）の3点を合わせて数えられますが、どこを伸ばしていくのかを検討が必要です。</p>	<p>コロナ禍を経て観光需要の回復・増加が期待されます。東アジアや欧米からのインバウンド増加や、連泊施設を起点とするエリア観光といった多様な観光への対応とともに、視察やビジネスでの来町者の滞在時間を延伸（宿泊）させることで観光消費活動拡大に繋がると考えられます。 また、町内観光需要を下支えする鹿追町民や近隣市町村民向けのリーダー対策も同時並行で進めなければならないと一体的な取組が必要であると考えます。</p>

項目	意見内容	回答
KPIに関する意見	<p>戦略13：子育て支援 子育て支援は今後も重要な課題であり、支援センターの活用も積極的にPRが必要である。</p>	<p>今後、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点が統合し、子ども家庭センターとなります。そのため、子育てに関する総合相談窓口として町民の方が利用しやすい体制を整え、積極的に周知を図りたいと考えています。</p>
	<p>戦略14：高齢者福祉 高齢者について、今後も増加傾向が続くことを念頭に、福祉活動も積極的に参加し、活力ある高齢者であることが理想です。 今後は独居世帯が増える傾向にあり、不安の解消と今後の対策が必要ではないでしょうか。</p>	<p>高齢人口の増加に伴い、医療との連携や気軽に相談できる体制が整っていることにより、相談が増加しています。保健福祉課と消防署と合同で、対象者を決め、防火査察として家庭訪問を実施しています。また、令和5年度からは、重層的支援体制整備事業を開始し、複雑な課題を抱えている世帯に対して、子育て、障がい、高齢、生活困窮分野が協働して、相談できる体制が整いました。今後は、地域づくり事業推進のため、地域ネットワークづくりを推進して参りますので、皆さんの参加協力のほど、よろしくお願いいたします。</p>
	<p>戦略17：コミュニティ コミュニティについては、時代とともに希薄になりつつあります。 行政活動にも地域格差がみられ、行政区内の高齢化も深刻化しつつあります。市街地区だけでなく農村地区も同じ状況であることから、将来的に見直しの際の検討も必要です。</p>	<p>希薄になりつつあるコミュニティ活動の対策として、地域のつながり活動助成金制度という、町内会活動を通して互助・共助の気持ちを持っていただくために町内会活動を後押しする制度を平成29年度に創設し、令和5年度からはさらなる町内会活動の活性化のお役に立てればと、より利用しやすいように制度を改正したところです。今後も引き続き行政区活動を支援して参ります。 また、ふれあいトークという取り組みも行っており、喜井町長へ直接町への要望を伝えたり、ご自身の想いをお話しいただける機会を設けておりますので、ぜひご利用いただけますようお願いします。</p>
	<p>移住定住者数を世代別に目標設定すべきです。</p>	<p>2024（令和6）年度から運用を始める第3期総合戦略を策定する際に、見直すことを検討します。</p>
	<p>宿泊受入部屋数を目標設定すべきです。</p>	<p>宿泊受入部屋の目標数を決めることは難しいと思われます。 町内には温泉宿、コテージ、旅館等が存在しますが、観光やビジネスなどの宿泊者が求める施設エリア、部屋タイプ、価格帯および食事等の様々な宿泊ニーズに応えられるよう、どのような宿泊施設が不足しているか調査し、対応していきたいと考えます。</p>
	<p>鹿追町特産品数の数を目標設定すべきです。</p>	<p>特産品に目標数を設定することは馴染まないと思われます。 本町には農畜産物やその加工品、菓子類、クラフト製品など多種多様な特産品が存在します。これらを多くの方々に認知いただき、鹿追の特産品は“これ”と言っていただけるように、今後も特産品の宣伝広告活動に取り組みたいと考えます。</p>
	<p>ふるさと納税の目標額を設定すべきです。</p>	<p>ふるさと納税による寄付額は近年1億円前後で推移しており、全国各地からの寄付者へ本町の特産品が返礼品として贈られます。 寄付額増加は、町の自主財源が増加するとともに、返礼品提供事業者の経済活動に繋がることから、当面は2億円を目標として事業を進めたいと考えます。</p>

項目	意見内容	回答
北海道十勝地域×東京台東・墨田区連携事業	—	

項目	意見内容	回答
交通モードの利活用により地域の内外をつなぐ交流人口拡大推進事業	—	

項目	意見内容	回答
その他	移住者数、留学者数の増加を目指し、教育視察ツアー事業を実施してはどうでしょうか。内容は、年に3～4回、時期を決めて公募し、宿泊もあわせて鹿追町内の学校ツアーを実施するものです。	鹿追町の教育内容を理解してもらい上で貴重なご意見であると考えています。実施体制を含めて検討を行います。
	ゲストハウス+コワーキングスペース開発事業を実施してはどうでしょうか。 大学生や研究者たちが安く泊まれる部屋数を確保し、リモートワークの促進につなげてはどうでしょうか。	多様で柔軟な働き方が認められる時代となり、それに対応したオフィス環境の整備が求められています。関係・交流人口が増加するなかで、観光客やビジネス等での来町者が自由に利用でき仕事をする場所となるコワーキングスペースのニーズを調査したいと考えます。 また、大学生や研究者が求める宿泊施設のエリア、部屋タイプ、価格帯および食事等の様々な宿泊ニーズについてもあわせて調査したいと思います。